



私たち子ども電話 童神は、子どもの権利条約、特に第 12 条の理念に基づき、若年者のいのちを守るこ  
と、そして若年者が自ら考え自ら行動する機会を尊重することで、他者を尊重し、主体的に自己成長・社会  
貢献する若年者が育ち、様々な違いはあっても同じ社会の構成員として共に歩んでいく、そんな社会の実現  
に向け、フェスティーナレンテに(ゆっくりと、でも確実に)活動を拡充して参りたいと考えています。

これまでの皆様の物心両面からのご支援に心よりお礼申し上げますと共に、引き続き当法人の活動へのご理  
解・ご協力賜ります様、お願い申し上げます。

なお、この度は皆様へのお礼ならびにメールマガジン発行が遅延いたしましたことをお詫び申し上げま  
す。

(一般社団法人)子ども電話 童神  
理事長 田里友邦

\*\*\*\*\*  
**2. クラウドファンディングで頂いた浄財の主な使途報告**  
\*\*\*\*\*

2018 年 12 月 17 日～2019 年 1 月 31 日に実施いたしましたクラウドファンディング(以下、CF と略す)を通し  
て、皆様より暖かい応援コメントと総額 615,000 円のご支援を頂き、手数料 17 パーセントを差し引いた約  
500,000 円を CF 実施業者・Readyfor 殿より受領いたしました。慎んでお礼申し上げます。

使途をご報告いたします。

なお、今回のご報告は、CF を通して頂いた浄財の使途であり、CF を通さないでご寄付・募金頂いた浄財の金  
額ならびにこれを含めた法人全体の 2019 年度決算報告につきましては、2019 年度の会計年度である本年 12  
月 31 日に締め、税理士を通して確定申告を行った後に、皆様に決算報告をいたします。

【2018 年 12 月～2019 年 1 月実施分 CF で頂いた浄財の使途】

※不足分につきましては、CF を通さずにご寄付・募金頂いた浄財にて支出しております。

(1) 事務局費用:118,800 円

※理事・サポートスタッフの名刺製作費、署名入り封筒製作費・消耗品購入費・文書郵送代金、税理士・司  
法書士への業務委託費等

(2) 第 1 期電話受け手ボランティア養成講座講師謝礼金(交通費込み)及び研修会場借用費:425,040 円

※福岡県・長崎県・愛知県・東京都ご在住の外部講師 11 名の先生方にご指導を賜りました。

内、2 名の講師の先生より「謝礼金・交通費の受領を辞退するので、その分、子どものために役立てて欲しい」旨、お申し出を頂きましたので、9 名の先生方に謝礼金(交通費込み)をお支払いいたしました。

プライバシー保護のため、個別の謝礼金の金額につきましては非公表とさせていただきます。ご了承下さい。

(3) 広報費: 54,000 円

※リーフレット製作費等

(4) 電話代金: 29,675 円

※フリーコール維持費等

\*\*\*\*\*  
3. 2019 年度(第 1 期) 電話受け手ボランティア養成講座実施状況中間報告及び受講生感想  
\*\*\*\*\*

(1) 外部講師の先生方にご指導頂いた講座

開催日	講義内容	講師
1 月 19 日(土)	『電話受け手の実践(1)』	中村尊先生(チャイルドライン支援センター 理事)
1 月 26 日(土)	『子どもの人権』	迫田登紀子先生(弁護士)
	『子どもの安心・自信・自由』	重永侑紀先生(にじいろグループ代表)
4 月 7 日(日)	『知っておきたい!性の多様性の基本=LGBT. q+ の子どもたちの話によりそうために=』	石崎 杏理先生(friends 代表)
5 月 12 日(日)	『少年院の子どもたち』	渡辺玲子先生(法務省名古屋第 3 管区部長・沖縄少年院前院長)
	『SDGs について』	亀井直人先生(2030SDGs ファシリテーター)
5 月 19 日(日)	『いのちの参観日』	玉城ちはる先生(シンガーソングライター)
6 月 2 日(日)	『発達障害への理解を深めるために』	田中みか先生(一般社団法人 together land 代表)
6 月 16 日(日)	『電話受け手の実践(2)』	中村尊先生(チャイルドライン支援センター 理事)
6 月 30 日(日)	『不登校について』	林智恵先生
7 月 14 日(日)	『ファシリテーションについて』	亀井直人先生(日本ファシリテーション協会元九州支部長)
7 月 28 日(日)	『子どもアドボカシーについて』	堀正嗣先生(熊本学園大学教授)
8 月 25 日(日)	『グリーフサポートについて』	森みか先生(暮らしのグリーフサポートみなと代表)

※上記の外部講師の先生方によるご指導に加え、当法人研修担当理事の城戸孝良氏の指導の下、『カウンセリングの基礎』についての講座を合計 9 日、実施しております。

## (2) 養成講座受講生感想

☆Yさん

私が童神電話受け手ボランティアの受講生募集のパンフレットを見たのは、今年の2月でした。ちょっと興味があつたので、あまり深く考えずに、とりあえず参加してみました。城戸先生の講義では、乳児期から思春期までの心理を教えていただき、本当にありがたい知識となりました。また、素晴らしい外部講師に来ていただき、“子どもの安心・自信・自由について”ということで、重永侑紀先生のお話を聴き、子供たちが困った時本人はどうしたらよいか、また周りの人はどう助けることができるか具体的に教えていただき、とても感激しました。

“犯罪加害未成年者の立ち直り支援について”ということで、少年院校長 渡辺玲子先生のお話は、本来の子どもの姿に立ち直っていく接し方や言葉のかけ方などの大切さをしみじみ感じました。

LGBT や発達障害や貧困やいじめ・・・など、今までの私の身近な生活の中では気づかず、こういう悩みはピンと来てなかったのですが、講義を受け、知ることができ本当に良かったです。この勉強を生かし、電話ボランティアで少しでもお役に立てたら嬉しいと思っています。

傾聴の意義は、自分で解決していけるようになるよう支援する ということです。このボランティアを通して、子どもたちが命を大切に思うようになり、生きててよかった！と思ってくれるようになったら最高に幸せです。

☆Gさん

私が今回の童神の電話ボランティア講習の事を知ったのは朝日新聞の記事でした。代表の田里さんの活動が掲載されており、こういう事に関わりたいと応募したのがきっかけで、子供にまつわる悲しい事件が多い中、息詰まっている子供たちの小さなはけ口になれたらと思ったからです。

講習は同理事の長年いのちの電話に携わった城戸先生の経験と、多くの心理学者の研究に基づいた資料から先生が優しくわかりやすく説明して頂く講義や、様々な外部講師の方々のお話などから構成されており充実した内容の中行われております。

どれも実際に子供や大人に関わり体験した話は深い内容ばかりで、自分の生半可な知識を反省し、多くを知ることが出来た機会に感謝しております。

ただそれだからと言ってすぐに電話ボランティアをできるようになるかについては、まだまだ不透明で自信は全くないのが正直な気持ちです。いくら勉強しても、いくらロールプレーしても、むしろ無駄な自信などない方がいいのかもとも思います。それほど今の子供たちのとりまく環境が厳しいものではないかと想像するからです。ほんとうに苦しみをわかる事や寄り添う事はできないけれどただただ子供の助けて耳を傾ける事ができるようになればと望んでいます。

\*\*\*\*\*

#### 4. その他活動報告

\*\*\*\*\*

主な活動をご報告いたします。

活動日	活動内容	備考
2018年 12月17日	民放ラジオ出演	
12月18日	朝日新聞（福岡県版）へ童神の活動記事が掲載される	子ども向け無料相談電話を開設 ボランティア募集：朝日新聞デジタル <a href="https://www.asahi.com/articles/ASLD755KQLD7TIPE018.html">https://www.asahi.com/articles/ASLD755KQLD7TIPE018.html</a>
2019年 1月10日	毎日新聞へ童神の活動記事が掲載される	電話相談：若者ボランティア、受講生募集 「時間拡大で人員必要...」 - 毎日新聞 <a href="https://mainichi.jp/articles/20190110/ddl/k40/040/361000c">https://mainichi.jp/articles/20190110/ddl/k40/040/361000c</a>
1月12日(土)	博多駅前にて街頭募金活動	※外部助っ人サポーター6名の協力を得て、3時間街頭募金活動並びにチラシ配布を行いました結果、ご通行の皆様より総額13,643円のご寄付を頂きました。
2月3日	ラジオ沖縄出演(2月1日収録)	オリンピース出演
3月2日・3日	福岡市内の飲食店にてチャリティーライブ実施	※両日で3,000円のご寄付を頂きました。
5月5日	博多ベイサイドにて街頭募金実施	5名の助っ人スタッフの下、同日12時から19時に街頭募金・リーフレット配布を実施いたしました結果、44,343円のご寄付を頂きました。
5月12日	福岡市中央区の飲食店にてチャリティーライブ実施	12,000円のご寄付を頂きました。
5月18日	福岡市中央区のライブハウスにてチャリティーライブ実施	125,000円のご寄付を頂きました。
5月19日	ラジオ沖縄番組『思いやり交差点』電話インタビュー出演	
7月21日	大文字太鼓チャリティーコンサート出演	約50,000円の募金・ご寄付を頂きました。

\*\*\*\*\*

5. 〈寄稿〉『児童養護施設について』

\*\*\*\*\*

社会福祉法人 慈愛会 児童養護施設 清心慈愛園

職員 三田詩織

私は児童養護施設に勤めて5年になります。

子供達と日々過ごしてきた中で、未だに児童養護施設にいる子たちへの冷たい世間の目が無くならないなと感じています。

施設にいる子たちは、自分達のせいでここに来たわけではありません。親が全て悪いと一概に言うことは出来ませんが、いくら暴力を振るわれてもみんな口を揃えて、お母さんに会いたいと言います。

施設で過ごす子供達は、普通の子達と何も変わりません。毎日ご飯を食べてゲームをして、宿題をして、時には職員とも言い合いになって。毎日笑顔の絶えない子供たちばかりです。

もちろん、私たち職員でも可哀想かと聞かれたら、可哀想ではないと言い切ることは出来ないなと思います。しかし、ここにいる子供達はきっと大人の誰よりも強い子に育つと思っています。

18歳になると、1人で生きていく道を選ぶ子供達が殆どです。その強さがあるのはこの子供達が生きていく力だと思っています。みんなとても可愛い大事な、私たち大人が守るべき子供達です。

私はいつも一分一秒でも長くこの子供達が笑っている時間が出来ること、1日でも楽しいと思える日々を送れることを願いながら一緒に過ごしています。偽善者と思われるかもしれませんが、私達は共に悩み共に悲しみ、時には子供達の事で頭がいっぱいになってしまうこともあります。そんな時、結局救われるのは子供たちなのです。

子供たちの事で悩み、子供達に癒され本当の親ではない私達の事を慕ってくれるこの子供達の心が本当のこの子供達の本質だと思っています。だからこそ、私は童神の活動を応援しています。

悩みを抱えている子供たち、助けを求められない子供たち、そんな子供たちにも1日でも一分一秒でも長く笑顔でいられる時間を持って欲しいと思っているからです。

今後も活動に協力させて頂きたいと思っています。

\*\*\*\*\*

※ 今回のメルマガは以上です。 お読みになったの感想等頂けましたら幸いです。

★☆☆

(一般社団法人)子ども電話 童神 メールマガジン 2019 年秋号(第1号)

〈お問合せ先〉

住所:福岡県福岡市博多区美野島3丁目20番42号 エムロードⅡ106

<tel:090-5927-0767>(理事長・田里)

[mail:info@warabigami.org](mailto:info@warabigami.org)

[URL:http://warabigami.org](http://warabigami.org)

★☆☆